

# 米の需給状況について

令和7年12月10日  
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

本県を含め、全国的に主食用米の作付けは増加しました。

今後とも、主食用米の需給バランスを保ちながら、麦、大豆等の畑作物や収益性の高い園芸作物への作付転換など、需要に応じた生産を引き続き実践することが必要です。

## 1 国の需給見通し

国は、令和7年10月31日に開催した「食料・農業・農村政策審議会食糧部会」において、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」を変更し、令和8年7月から令和9年6月までの1年間の需給見通し等を示しました。

①令和8/9年主食用米等需要量 694～711万玄米トン

人口減少や直近の1人当たり精米ベースの消費量の実績、インバウンド需要の動向、精米歩留まりを考慮して、幅を持って設定。

②令和8年産主食用米等生産量 711万玄米トン

生産量は、需要見通しに対して余裕をもって設定することとし、①で設定した需要量見通しの上位値に設定。

③令和9年6月末民間在庫量 215～245万玄米トン

上記の見通し設定に伴い設定。

表 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン (玄米))	精米ベース (万トン (精米))
令和7年6月末民間在庫量	A	155	138
令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	748	662～670
うち生産者ふるい目幅以上	C	715	-
うち生産者ふるい目幅未満のうち、D 主食用米への供給見込量		32	-
令和7/8年政府備蓄米供給量	E	23	21
令和7/8主食用米等供給量計	F=A+B+E	926	822～829
令和7/8主食用米等需要量	G	697～711	624～631
令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	215～229	191～205

表 令和8/9年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン (玄米))	精米ベース (万トン (精米))
令和8年6月末民間在庫量	H	215～229	191～205
令和8年産主食用米等生産量	I	711	630～637
令和8/9主食用米等供給量計	J=H+I	926～939	821～841
令和8/9主食用米等需要量	K	694～711	622～630
令和9年6月末民間在庫量	L=J-K	215～245	191～220

## 2 水田における作付状況

国は、令和7年10月10日に9月15日時点の令和7年産の水田における作付状況を公表しました。これによると全国の主食用米の作付面積は、前年実績を10.8万ha上回る136.7万haとなりました。

本県においては、前年より10.5千ha増加の67.0千haとなり、生産の目安(56.5千ha)を大きく上回りました。

飼料用米や備蓄米が大きく減少し、主食用米の増加につながりました。

表 主食用米の作付状況（令和7年9月15日時点）単位：千ha

都道府県名	6年産実績①	7年産作付状況②	前年差	前年比%
			(②-①)	(②/①)
全国	1,259.0	1,367.0	108.0	109
福島	56.5	67.0	10.5	119

表 戦略作物等の動向（令和7年9月15日時点）単位：千ha

	加工用米	戦略作物						備蓄米	
		新規需要米				麦	大豆		
		新市場開拓用米	米粉用米	飼料用米	WCS用稻				
全国	本年	44.2	9.0	3.5	46.0	48.9	94.8	74.9 0.0	
	前年	50.2	11.2	6.3	98.7	56.5	103.1	84.4 30.0	
	前年差	▲ 6.0	▲ 2.2	▲ 2.8	▲ 52.7	▲ 7.6	▲ 8.3	▲ 9.5 ▲ 30.0	
福島	本年	1.0	0.1	0.0	1.4	0.9	0.4	0.8 0.0	
	前年	0.4	0.2	0.0	7.0	1.1	0.4	0.9 5.6	
	前年差	0.6	▲ 0.1	0.0	▲ 5.6	▲ 0.2	0.0	▲ 0.1 ▲ 5.6	

## 3 令和7年産水稻の予想収穫量

国は、令和7年11月18日に令和7年産主食用米の予想収穫量（10月25日現在）を公表しました。全国における主食用米の収穫量は前年産より67万6千トン多い、746万8千トン（ふるい目幅1.70mmベース）と見込まれています。

また、本県の予想収穫量は前年産より6万400トン多い、38万1900トン（ふるい目幅1.70mmベース）と見込まれています。